

第11回 アジア3R自治体間 ネットワーク会合

The 11th 3R Conference for Asian Local Governments

循環経済促進のための国際的な自治体間連携および各自治体における取組について、食品やプラスチックなどのリサイクルを事例として取り上げ議論します。



開催日：平成30年10月23(火)～24日(水)

会場：TKPガーデンシティPREMIUM
みなとみらい

参加費：無料

言語：日英同時通訳

開催テーマ：

アジアの都市における
循環経済促進のための取組

事前参加登録はこちらから→ <http://www.jesc.or.jp/training/tabid/146/Default.aspx>

主催：一般財団法人日本環境衛生センター
共催：環境省 横浜市 独立行政法人国際協力機構 独立行政法人環境再生保全機構

プログラム

講師プロフィール

◆ 10月23日(火)

- 14:30 開会
15:00 基調講演(1) — 南川 秀樹(日本環境衛生センター 理事長)
「廃棄物管理と3R社会に関する課題と対策」
15:20 事業紹介 — 国際協力機構(JICA)
15:50 基調講演(2) — 細田 衛士(慶応大学 教授)
「循環経済と廃棄物管理(仮)」
16:10 海外招聘者からの報告
「循環経済促進のための活動と日本企業への期待」
— マンダウエ市(フィリピン)
— ダバオ市(フィリピン)
— ヤンゴン市(ミャンマー)
— ハイフォン市(ベトナム)
17:10 日本企業からの発表
「循環経済促進のための日本の取組み紹介」
17:50 1日目 総括
18:00 1日目 閉会



南川 秀樹

日本環境衛生センター 理事長

1949年三重県四日市市生まれ。環境省で自然環境局長・地球環境局長・官房長・地球環境審議官・環境事務次官を経て、一般財団法人日本環境衛生センター理事長を務める。

◆ 10月24日(水)

- 9:30 基調講演(3) — 奥 真美(首都大学東京 教授)
「日本の廃棄物政策におけるヒエラルキーと市民参画」
9:50 パネルディスカッション
「循環経済促進のための自治体間連携および各自治体における取組の方向性」
国内各都市からの発表 — 横浜市
— 北九州市
— 川崎市
— 名古屋市
10:55 ディスカッション
12:15 総括
12:30 閉会



細田 衛士

慶応大学 経済学部 教授
中部大学 客員教授

1953年東京生まれ。82年慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。80年慶應義塾大学経済学部助手。87年同助教授。94年より同教授。専門は環境経済学・理論経済学。

※両日とも受付は開会30分前から行います。
※上記はすべて2018年10月現在の情報です。予告なく変更となる可能性がございます。ご了承ください。

会場アクセス

TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい みなとみらい線「みなとみらい駅」4出口徒歩1分



奥 真美

首都大学東京 都市環境学部 教授

1967年東京都生まれ。93年横浜国立大学大学院国際経済学法学研究科修了(法学修士)。東京市政調査会研究員、長崎大学環境科学部助教授を経て、2006年より現職。専門は環境法・行政法。